

地域で最期まで暮らし続けけるための住まい

高齢者人口の増加に備え、港区では高齢者が地域で暮らし続けていくことができるための多様な高齢者住宅の確保をすすめています。

六本木ヒルズの向かい、六本木駅から徒歩1分という好立地に9月にオープンしたばかりのサービス付き



建物全景

高齢者向け住宅の開所式に招かれました。区営住宅シティハイツ六本木をシティハイツ六本木等複合施設として建て替え、サービス付き高齢者向け住宅、訪問看護事業所、訪問介護事業所、障害者グループホームを併設し、運営は民間に運営委託しています。

木をふんだんに使った明るいロビーを入ると、フロアを分けて1・2階が知的障害者のグループホーム、3～5階が高齢者の住まいとしています。各フロアは回廊式の構造となっており、中心に明かり取りの窓があるので

全体に明るく、ゆったりとした雰囲気です。

サービス付き高齢者向け住宅は単身者用の30戸の住まいで、各室に簡単なキッチンとトイレがあります。玄関に折り畳み式の椅子を作りつけてあり、ちょっと腰かけて靴を履きかえることができるようになっており、使いやすそうです。

住宅の入り口には相談室があり、スタッフが常駐して緊急通報や定期的な安否確認、

入居者からの相談に対応します。厨房は地下にあり、希望に応じて食事が提供されます。入居はこれからで、東京タワーの見える方の部屋から入居者が決まりはじめているそうです。



居室

には少し先を見通して、地域に多様な住宅を用意していくことの大切さを実感しました。

最期まで地域で暮らし続けたい。そのため

(松浦)

ひと・まち社の活動へのご支援をお願いします

ひと・まち社の主な事業は、特養やグループホーム、保育園などの東京都福祉サービスの第三者評価と福祉にかかわる調査研究活動です。第三者評価では年間30件を受託目標とし、現在19件の契約を見込んでいます。また、児童養護施設のプロポーザルに応募するなど、新規受託にも意欲的に取り組んでいます。

調査研究活動では、介護保険制度改正に伴い3年間の継続調査「介護予防・日常生活支援総合事業に関する自治体調査」を実施中で、今年は3回目の調査を行います。介護予防・日常生活支援総合事業には「地域づくり」が盛り込まれ、市民活動の活躍が期待されていますが、市民の活動こそ主体的に作り出されることが理想です。「地域の福祉づくりは市民の手で」を意識し、地域活動をつくり出すことや市民提案につながるよう、調査を進めていきたいと思いを。

ひと・まち社の調査活動は、会費や賛助会費、寄付などにより支えられています。皆様には引き続

き、調査活動を支えていただきますよう、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

認定NPOは、大勢の市民の支援を受けていることを示すために、毎年、3,000円以上の寄付者が100人以上いることが絶対基準となります。今年度の絶対基準の達成まで、もう少し大勢の皆様のご支援が必要です。ひと・まち社への寄付は、公益社団・財団法人、学校法人、社会福祉法人などへの寄附と同様に税制優遇が受けられ、寄付した金額を確定申告すれば税金の優遇(還付)が受けられます。ぜひとも皆様のご協力をお願い申し上げます。

(工藤)

ひと・まち社への寄付はこちらへお願いいたします

・郵便振替口座 00170-6-410791

NPO 法人市民シンクタンクひとまち社

・三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店 普通 5298170

特定非営利活動法人市民シンクタンクひとまち社

編集後記：友人のお手伝いで、一人暮らしのおばさまの遺品を整理しに行った。他人の私が手を出せるのは、出された洋服の仕分けと細々とした小物類。思い出を語りながらの仕分け作業は、残されたものが故人を偲ぶよい機会となっていたことに気がついた。一人では抱えきれない寂しさとやるせなさ。人は、人が発する言葉で癒されることを身を持って感じた。誰かと話せる「居場所」が身近な地域にあるといい。(K)